

# 日吉台の福祉

【日吉台の福祉】で

検索



発行 日吉台学区社会福祉協議会

ホームページ

<http://www.geocities.jp/hiyoshidainohukushi>

## 『日吉台ふくしのまちづくり計画』の策定についてお知らせ



日吉台の住民と周辺福祉関連事業所が集まり、地域の福祉について話し合う〔ケア会議〕は、「地域福祉懇談会」として年に4回開催しています。

平成24年度に「助けられ上手のすみよい我がまち日吉台」をテーマにはじまり、翌25年度に「手と手をつなぎ《わ》ができるまち日吉台」に引き継ぎ、26年度に日吉台小学校4年生の皆さんと「将来日吉台はどんなまちになるか考えよう」を学習しました。

また、日吉台幼稚園の保護者の皆さんとは「日吉台がこんな街になったらいいな」をテーマとして話し合いの場をもちました。

地域の子どもさんから大人まで幅広い層の方々から寄せられた貴重な意見やメッセージを集約し、大津市社会福祉協議会及び大津市比叡地域包括支援センターのご協力をいただいて、この度『日吉台ふくしのまちづくり計画』を策定いたしました。

主な内容は、下記の項目に分類し、今後の日吉台における福祉活動の目標となっています。

1. 安心して暮らせる、「助けあい」と「ささえ愛」があるまちに
2. 絆を深めるふれあいのあるまちづくり
3. 健康で長生きしたいまちに
4. 活気あふれるまちに
5. 防犯・防災意識の高いまちに



この計画書は、「日吉台の福祉」と共に各個配布をして、住民の皆さんにご覧いただき、一緒にまちづくりを進めていきたいと考えています。



幼稚園にて



小学校にて

## ふれあいサロン日吉台は8年目を迎えます。これからもよろしく！！

地域住民の交流と親睦を図るために、色々な催しを楽しむ「ふれあいサロン」がスタートしたのが平成20年4月でした。当初、どのように運営したら参加された皆さまに喜んでいただけるのか、何回も話し合いを重ね、他の地域で開催しているサロンも見学しました。

そこでは、サロンを支えているスタッフの方々が生き生きと活動されていたのが印象的で、ボランティアで手伝ってくださる皆さんが、楽しく活動できることが大事だと思いました。

サロン開催当日は、朝9時から食事の準備、会場設営を11時頃から始め12時からの開催に備えます。参加された皆さまには、昼食後はコーヒーやジュースを飲んでくつろぎ、アトラクションでは民謡や舞踊、カラオケ・手品・コーラス・クイズ等を楽しみました。時には、ミニ運動会やゲーム等も行っており体を動かしています。また、日常生活に役立つ講座も開催しています。

「ふれあいサロン」の運営は大変ですが、いつもボランティアの方々の支えが有り、多くの参加された皆様の「楽しかった」の声を励みに7年間続けてこられました。これからも喜んでいただける「ふれあいサロン」を開催したいと考えています。ご意見等がございましたらお聞かせください。



3/25 音楽療法の様子

最近のふれあいサロンの開催内容

2月25日（水）	高齢者の交通安全講座	102名参加
3月25日（水）	音楽療法（笑って心も体も元気）	71名参加
4月22日（水）	新舞踊（夕扇会）の予定	

## おでかけサロンの活動報告

（参加者28名）

3月17日おでかけサロンは早春の伏見散策に出かけました。日吉台を出るときは朝曇りでしたが、JR 桃山駅に着くころには春らしい晴天になり早咲きの桜が私たちを迎えてくれました。なだらかな坂道を歩いて行くと明治天皇と昭憲皇太后が奉られている桃山御陵があり、広い陵域は当時の天皇の権威を象徴するものでした。そこで記念写真を撮り、御陵を後にして乃木神社へ。乃木神社の境内で昼食を済ませて、御香宮から大手筋商店街を通って坂本竜馬で有名になった竜馬通りから「寺田屋」まで散策しました。その後、黄桜酒造で歩き疲れた体を癒してくれたのは、お酒ではなく、ビールとソフトクリームでした。好天に恵まれた楽しいおでかけサロンの1日でした。

## 防災講演会の報告

2月11日（水・祝）市民センターで防災講演会が開催されました。

講師は「たかしま災害支援ボランティアネットワークなまず」代表の太田直子氏と他にスタッフ1名で、会場に持ち込まれた巻き取り式の大型の紙芝居を使っての講演でした。

第1部では「なまずの学校」～楽しく学んでまさかに生かそう～がテーマでした。いざ災害が起きた時にあなたは何を持って避難しますか？という質問に対して、手元に配られたカードの中から選んでテーブルの上に出し、選んだ答えが正解に近いほど高いポイントが貯まるというゲームをしながら、防災の知識が学べるユニークなものでした。

第2部では「いざという時サバイバル」～避難生活に役立つ知恵と工夫～《新聞紙を使って作ってみよう》というテーマでした。太田氏の指導で新聞紙を折り紙のように折りながら、スリッパやマスク、兜、さらにはおまる（簡易トイレ）まで作れるという工作でした。子供連れで参加された方もおられて、子供から大人まで楽しい有意義な講演会でした。  
〔社協・自主防災会・人推協・公民館共催〕（参加者100名）

## 福祉のまちづくり講座の報告

体験談を通じて学び合う在宅療養シンポジウム『“最期まで住み慣れた場所で暮らしたい”を形にした支援の輪』を3月1日に開催しました。

在宅介護を経験したご家族、訪問医師、ケアマネージャー、病院地域医療連携室、訪問看護師、作業療法士、福祉用具業者、訪問入浴サービスなどの方々の参加を得て、在宅介護に直接携わった体験や、ご家族の苦労話や良かったことなどのお話をさせていただきました。



当日は106名の方々が参加され、熱心に聞いていただきました。また、別室では介護に必要な福祉器具の展示もさせていただきました。

今後ますます高齢化が進んでいく日吉台において、入院施設などの不足も有る一方、自宅で療養することで家族と一緒に過ごしたいと考える方も増加してくるものと思われ、その重要性和必要性が増してくると痛感した講座でした。

この講座の開催にあたっては、5回にわたる事前打合せの会議を持っていただくなどスタッフの皆さんの熱心な取り組みがあったことをご報告させていただきます。

併せて、お忙しい中シンポジウムにご出演くださいましたご家族、及びひえい在宅療養応援団の皆さまに厚くお礼を申し上げます。有難うございました。

## ふれあい給食の活動報告

平成2年から始まりました「ふれあい給食事業」は、今年で25周年を迎えます。有志の皆様の熱意に支えられ順調に活動を続けてこられました。これからも関係者一同、地域福祉のために頑張っておりますので、よろしくお願い致します。

毎月1回当番が集い、受給者の皆様に喜んでいただけるようアイデアを出し合っって献立を決め、調理の現場では和気あいの雰囲気の中で、楽しみながらお弁当作りをしています。手作りを心がけ素人の作る家庭の味が市販のお弁当とは一味違い、時には「こんな出来ばえでええやろか？」ということもありますが、皆様に喜んでいただいている事が何よりです。そして、今年も京都新聞社社会福祉事業団の配食サービス支援事業からお米をいただき、1～2月分として使うことが出来ました。物価高の折とても助けられています。今年度の調理ボランティアは30名で3班に分かれて活動しています。今後も多くの方にご協力をいただきたく、ボランティアを募っていきたく思いますので、よろしくお願い致します。



（お問合せは、電話 077-579-3739 岩本まで）

## 「福祉事業賛助金」のお礼

平成26年度福祉事業賛助金については多くの皆様よりご篤志を賜り、厚くお礼申し上げます。〔220名 363,000円〕

皆様のご協力に感謝し、日吉台の福祉向上のために有効に使わせていただきます。

本紙前号で紹介させていただいた後にご協力頂いた方にお礼を兼ねてご芳名を紹介させていただきます。(敬称略、順不同)

日吉台四丁目 松田 正子、赤澤 資郎、菊良 咲子

## 民生委員児童委員協議会よりお知らせ

### ◎ 行方不明高齢者(認知症)発見ダイヤル事業とは…

日常生活に見守りの必要な認知症高齢者は、大津市で8,900名に上ります。道順が分からず行方不明が心配される認知症の方を“担当民生委員”を通じて、「大津市長寿政策課」に事前登録しておきます。【お問合せ先…民生委員または、長寿政策課 電話 528-2741】

